

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年										2025年									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~6日	7月 ~13日	7月 ~20日	7月 ~27日	8月 ~3日
カンピロバクター	25	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	13	9	9	6 (7)	10
病原性大腸菌	92	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	22	21	21	11 (14)	28
腸管出血性大腸菌	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	2	0	0	1	0
サルモネラ	7	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	3	3	1	1 (5)	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	4	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	2	2	2	2	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	6	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	0	2	2	1	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	0	0	2	0	0
ロタウイルス	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	0	1	0	0	0
ノロウイルス	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	0	1	0	1	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第31週(7月28日~8月3日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11	1	1	1		5		3
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4	1			1			2
四類	3	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1			1				
		日本紅斑熱	2			1		1		
五類	182	クロイツフェルト・ヤコブ病	1							1
		梅毒	11	1			1	5		4
		麻しん	1					1		
		百日咳	169	22	59	3	1	57	7	20

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年31週(7月28日～8月3日)

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり3.14人の報告があり、増加が続いています。全国でも増加傾向であり、注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、基本的な感染予防対策を心がけましょう。

2 伝染性紅斑

定点当たり4.00人の報告があり、多い状況です。前週まで2週連続で減少傾向でしたが、再び増加しており、注意が必要です。

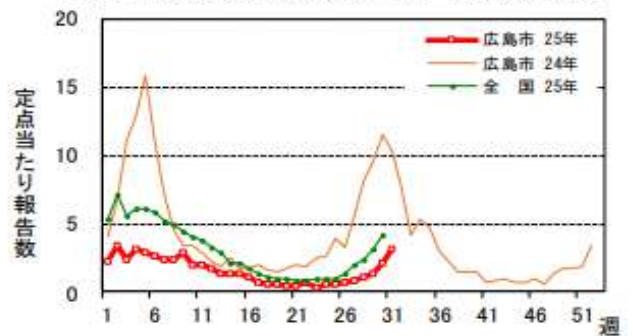
3 百日咳

57件の報告があり、多い状況が続いています。乳児は重症化リスクが高く、特に注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

4 日本紅斑熱

1件の報告があり、今年の累計は3件となりました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均（注） 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均（注） 過去5年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症（ARI）	1916	54.74			小児科	突発性発しん	7	0.32	0.26	
	インフルエンザ	-	-	0.12			ヘルパンギーナ	25	1.14	0.79	
	新型コロナ（COVID-19）	110	3.14				流行性耳下腺炎	-	-	0.02	
小児科	RSウイルス感染症	6	0.27	3.17		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	11	0.50	0.35			流行性角結膜炎	3	0.38	0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	2.27	1.10		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	115	5.23	2.27			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	5	0.23	0.12			マイコプラズマ肺炎	13	2.17	0.63	
	手足口病	17	0.77	4.41			クラミジア肺炎（オウム病を除く）	-	-	-	
	伝染性紅斑	88	4.00	0.02			感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症（ARI）定点数（内科・小児科）	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

（注）過去5年間の同時期平均（定点当たり）

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	75	30歳代・市外・推定感染地域: 国外・1人、50歳代・1人、70歳代・1人、80歳代・2人
4	日本紅斑熱	1	3	70歳代
5	梅毒	5	83	20歳代・1人、40歳代・4人
5	百日咳	57	719	10歳未満・17人、10歳代・27人、30歳代・2人、40歳代・4人、50歳代・2人、60歳代・4人、70歳代・1人
5	麻疹	1	2	30歳代